

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		YOUKIチャイルドアカデミー道上				公表日	令和7年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	適宜机や椅子を外に出してスペースを確保しています。グループ活動の際に部屋を分けるなど工夫をしながら取り組んでいます。	運動活動が安全に行えるスペースを確保していきたいと思います。公共施設も含めて活動場所を検討していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	その日の利用人数に対して、職員数が適切であるように配置しています。	職員の病欠が出た際の配置案などを事前に計画し、その日に合わせて配置できるように取り組んでいます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	文字（ふりがな付）や写真を使ってわかりやすくなるように工夫しています。その日のスケジュールもわかりやすく掲示しています。	2階に上がるのに階段を使用するため、バリアフリー化がされていないのが現状です。スロープの設置などを検討しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	毎日清掃を行っています。定期的に美化作業にも取り組んでいます。	活動内容によって狭いと感じることがあるため、公共施設も含めて活動に合わせた場所の検討を行います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	必要に応じて個別の部屋を確保しています。個別活動ができるブースを6つ配置しています。	個別の部屋のスペースが活動を行うのに不十分なときがあります。スペースの確保を検討します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	始業時の申し送り、終業後のミーティングなど日々情報共有を行いながら取り組んでいます。定期的にケース会議、運営会議など広く参画できる体制を取っています。	引き続き取り組みながら、PDCAサイクルを意識した業務改善案が自然となされるようにしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	玄関への掲示を行っています。	ホームページへの掲載を検討しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	ケース会議や運営会議などを定期的に行い、意見を募りながら業務改善に向けて取り組んでいます。	職員の意見を把握する機会を会議以外にも設けていき、自然と業務改善に繋がるようにしていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	2025年2月3日に福山市の運営指導が実施されました。	その意見を受けて業務改善案に盛り込み、取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	職員の資質向上を図るため、事業所での内部研修や法人内での合同研修、外部での研修の機会があり、積極的に参加しました。	引き続き積極的に参加しながら、職員の資質向上を図っていく予定です。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	支援活動の計画を作成し、共有してから支援にあたり、多様な活動に取り組んでいます。パンフレットやホームページに支援プログラムを掲載しています。	支援プログラムの質を高めていくことが課題のため、職員の資質を向上に取り組みながら、支援プログラムに還元していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	家族と面談を行い、事業所、学校、ご自宅の様子を聴きながら情報を集めて、ケース会議で分析を行いながら計画を作成しています。	標準化したアセスメントツールを使用し、効率よく的確な計画を作成できるように取り組みます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	ケース会議を行い、児童発達支援管理責任者を中心に各職員の意見を反映し、共通理解が得られた計画を作成しています。	5領域に関して各職員が理解を深めて、その子の最善の利益を考慮した計画を作成していきたいと考えています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	ケース会議を行い、職員間で計画を共有しながら取り組んでいます。会議に欠席だった職員にも計画を回覧し、チェックをつけています。計画に沿った支援が行われるように、その日の様子を共有していきます。	計画に沿った支援が行えるように、計画の共有を確実にしていきます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	日々の行動観察などアセスメントを行い、情報を重ねています。	標準化されたアセスメントツールの使用を検討していきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	本人支援、家族支援、移行支援など子どもの支援に必要な項目を設定しながら、作成しています。	地域支援・地域連携の項目の設定が遅れているため、課題となっています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	月に数回、月案会議を設け、活動プログラムの立案をチームで行える環境になっています。	活動プログラムの立案が、さらにスムーズに行えるように環境づくりを進めていきます。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	活動プログラムが固定化しないように新しいプログラムのヒントを求めるように工夫しています。	今年度は新しいプログラムのヒントをつかむための時間を設け実施していきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	こどもの状況に応じて、集団活動を中心に、個別活動を加味した計画作成を行いました。	さらにアセスメント情報を加味して、集団活動に加え、個別での活動を取り入れていく予定です。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前に職員間で打ち合わせを行っています。時間を掛けた申し送りとミーティングをしています。	今後は共有情報の洩れがないように申し送りの質を高めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	ミーティングでしっかり振り返り、改善点の共有が行われています。	引き続き支援終了後にミーティングを行い、気づきを共有し、支援の質が高まるようにしていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	その日の子どもの様子を個別に記録しています。それらの情報を基に個別支援計画の原案の作成、活動の改善など、支援の検証・改善に繋がっています。	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、幅広く支援の検証・改善に取り組みます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	1	定期的なモニタリングを行うことに加え、日々の記録を参照しながら児童の状況に合わせた見直しを行っています。	引き続き、定期的なモニタリングの機会を持ち、児童の状況に合わせた計画の見直しを行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	9	0	4つの基本活動を加味しながら、複数組み合わせ合わせて活動を計画しています。	様々な活動が取り組めるように計画していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	活動プログラムの中に、こどもが自己選択できる選択肢を用意しています。その場での選択が難しい場合も自己選択に繋がるようにサポートを行っています。	その子の状態にあわせて、自己選択がしやすくなるような工夫をさらに進めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	会議に際し、児童発達支援管理責任者に情報を事前に集約してから参画しています。	情報の集約がより効率的に行えるように日々の情報共有を徹底していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	各関係機関と連携して支援を行う体制を整えつつ、必要に応じて連携を行っています。	今後積極的な関係機関との連携を行う体制を整えていきます。まず個別支援計画に関する共有を行っていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	送迎時に連絡調整を行っています。年間行事計画、下校時刻の確認、トラブル発生時の連絡を適宜行っています。	下校時に担任の先生との連絡調整、情報共有を密に行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	相談員、家族との連絡、情報共有を行っています。	引き続き情報共有を行いながら支援に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	4	家族の必要に応じて情報提供を行う体制を整えています。	今後、学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、支援内容などの情報の提供を行っていく予定です。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	3	現在受けていません。	必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受けるなど連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	放課後児童クラブや児童館との交流は今まで行っていません。地域の秋祭り等で交流の機会がありました。	今後地域の他のこどもと活動する機会があるよう活動の計画を進めていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	福山市放課後等デイサービス連絡協議会に参加しています。	引き続き協議会への積極的な参加を行います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	支援終了後、保護者と話す機会があり、日々の情報を共有しています。定期的に面談を行っています。	支援終了後など情報共有を行い、共通理解を持って取り組んでいます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	研修会や地域で参加できるイベントなどを掲示しています。	家族支援プログラムや参加できる研修会の情報提供等の機会を配布するなど増やしていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に説明しています。運営規定など事業所に掲示を行っています。	運営などの掲示を引き続き行い、必要に応じて丁寧な説明が行えるようにしていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	計画作成に際して、事前に面談を行い、こどもや家族の意向を確認したうえで計画を作成するように努めています。	引き続き事前に面談の機会を設け、意向を反映した計画が作成できるように努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	計画の説明を行い、保護者からの同意を得ています。	引き続き計画の説明を行い、同意を得ていきます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	保護者との面談の機会を設けています。必要に応じて電話連絡を行い、相談機会に繋がっています。	相談のある場合に限らず、日頃より必要な助言が行える体制を整えていきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	2月中に2回家族会を実施しました。	2025年に全曜日で家族会を実施し、保護者同士で交流する機会を設けていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情対応の体制については、契約時に説明しています。	苦情に対しては職員全員で周知し、対応、再発防止に努めていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	定期的に子どもの様子や活動内容を発信しています。活動の行事予定も前月に家族へ向けて発信しています。	今後、通信の発行頻度を増やしていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	個人情報の取り扱いについては各職員十分に留意しています。写真の取り扱いについても再検討を行いました。	各職員が留意しながら業務が行えるように取り組んでいます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	情報共有を行いながら、必要に応じた対応を行っています。	細やか配慮が行き届くように支援の充実を図ります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	見学を随時受け入れています。地域行事への参加もできる限り行っています。	今後も地域に開かれた事業運営を図ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	各種マニュアルを策定し、運営している状態です。必要に応じた訓練を行っています。	家族への周知が行えるように対応していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	現在策定中です。	以前から行ってきた非常災害の対応策に加え、BCPを策定し、必要な訓練を行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認したり、定期的に情報共有を行っています。	引き続き情報共有を丁寧にを行いながら取り組んでいます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	食物アレルギーについて、書面にてアレルギー情報について共有しています。	引き続きおやつ、クッキングなど必要に応じて対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	安全計画を作成し、研修を行い、安全管理を行いながら支援をしました。	安全計画に沿って必要な安全管理を行っています。研修や訓練を重ねていきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	安全確保について、契約時に説明を行いました。	安全計画に基づく取り組みが共有できるように、引き続き説明を行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	支援終了後のミーティングでヒヤリハットを共有し、再発防止に向けて話し合いを重ねています。	具体的な方策が検討できるように話し合いの質を高めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	定期的に虐待を防止するため研修機会に参加し、日々の支援を内省しながら取り組んでいます。	引き続き研修機会を設け、虐待の防止に努めていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	そのような事例はまだありません。	やむを得ず行う事態が発生する場合、事前に十分な説明が行えるような体制を作り、同意を得た上で支援を行います。	